



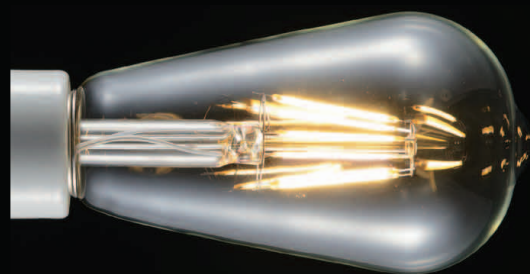
LED SWAN BULB

ジョセフ・スワンとエジソンが闇夜を変えた電球を、LEDテクノロジーで復刻。

復刻の造形と最新テクノロジーが交差し、照明を再定義する。時間を超えて出会う、人類近代史の軌跡。

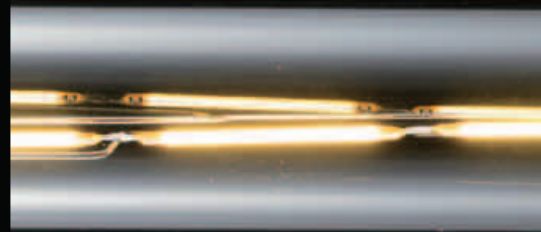
キャラクター溢れるガラス球

球体のフォルムが可愛いBallは、現代人が最も目にして電球のフォルムで、店舗やご家庭内で最も違和感なく受け入れられるでしょう。洋ナシ型のEdisonは、白熱電球黎明期の伝統的でもっともレトロ感を演出できる、透明容器をつくるための吹きガラス技法の都合の中で生まれた、工業的にも愛すべきフォルムです。試験管型のBeaconは実験と研究の歴史を感じさせ、Daiaは18世紀のランプ街灯のような光の筋が感じられ、各々が特徴的な光を演出します。



独特の光を放つフィラメント

初の白色電球が世界の暗闇に光を灯し「世界から夜が消えた」と評された19世紀末。初期のフィラメント電球を模したデザインは、電球の黎明期を彷彿とさせます。発光が弱いゆえに長い必要があった当時のフィラメントを、21世紀の現代にわざわざLEDで復刻するというのは多少愉快ではありますが、元祖のデザインと温もりのある光を持つ伝統と雰囲気、言い知れぬ魅力を有していることはお伝えするに及びません。



ジョセフ・スワンとスワン電器株式会社

電球の父はエジソンと思われがちですが、エジソンより前に炭素繊維条を使った白熱電球を発明した“真の電球の父”は、ジョセフ・スワンという人物です（のちにエジソンと「エジソン&スワン連合電灯会社」を設立）。この度SWAN LAMPを販売するにおいて、このジョセフ・スワンという人物名と弊社SWANの社名の由来とは関連性は無く、全くの偶然です。しかし、あらゆる発明が「実験や研究によって狭められた偶然」によって発見されたとするならば、この偶然は、弊社が企業以来一貫して「光を提案し続けている道程」の重要な出会いの1つであると感じずにはいられません。

Edison

Code : SWB-E002L
Price : ¥2,900
Size : φ64 x H138 mm
JAN : 4968912900282

Ball

Code : SWB-G200L
Price : ¥2,900
Size : φ95 x H140 mm
JAN : 4968912900275

Beacon

Code : SWB-F004L
Price : ¥3,200
Size : φ29 x H215 mm
JAN : 4968912900305

Daia

Code : SWB-F003L
Price : ¥3,300
Size : φ95 x H122 mm
JAN : 4968912900299

口金 : E26
定格寿命 : 15000h
消費電力 : 7.5W (※5.0W)
全光束 : 800lm (※470lm)
演色性 : Ra82
色温度 : 2700K
※Beaconのみ

復刻感溢れるパッケージデザイン



輸入元・販売元 : スワン電器株式会社

SWAN TOKYO JAPAN

1968年創業のライティングメーカー。創業者である黒澤正之がアームスタンドの製造を開始し、アメリカカリフォルニア州シカゴのマークス社に、ノックダウン方式で「スワンライト」の輸出を開始したことから始まる。その機能美を追求したフォルムは、建築などインダストリアル・デザイナー達から多くの支持をいただいている。その後もコンスタントに製品を発表し続けると同時に「Artemide」の輸入を開始。アルテミデはイタリア・ミラノで1959年から続くファンクショナルなデザインで知られる照明ブランドで、その製品の国内販売提案を手掛けることで、幅広い「光の提案」を行なうライティングメーカーです。

東京都港区北青山3-12-7-202 www.slimac.co.jp